

2019年3月期（第17期）

決算説明会

2019年5月15日
株式会社ジーダット

1. 2019年3月期 決算概要

2. 2020年3月期 計画・業績予想

2019年3月期のポイント

売上高:18.8億円 (対前年比1.1%増)
営業利益:1.1億円(2.1%減)、経常利益:1.2億円(2.4%減)

自社開発製品の売上が横ばい、代理販売品が伸長

ソリューションの売上が減少、海外市場向けが微減

自社開発製品「SX-Meister」の機能拡張を継続

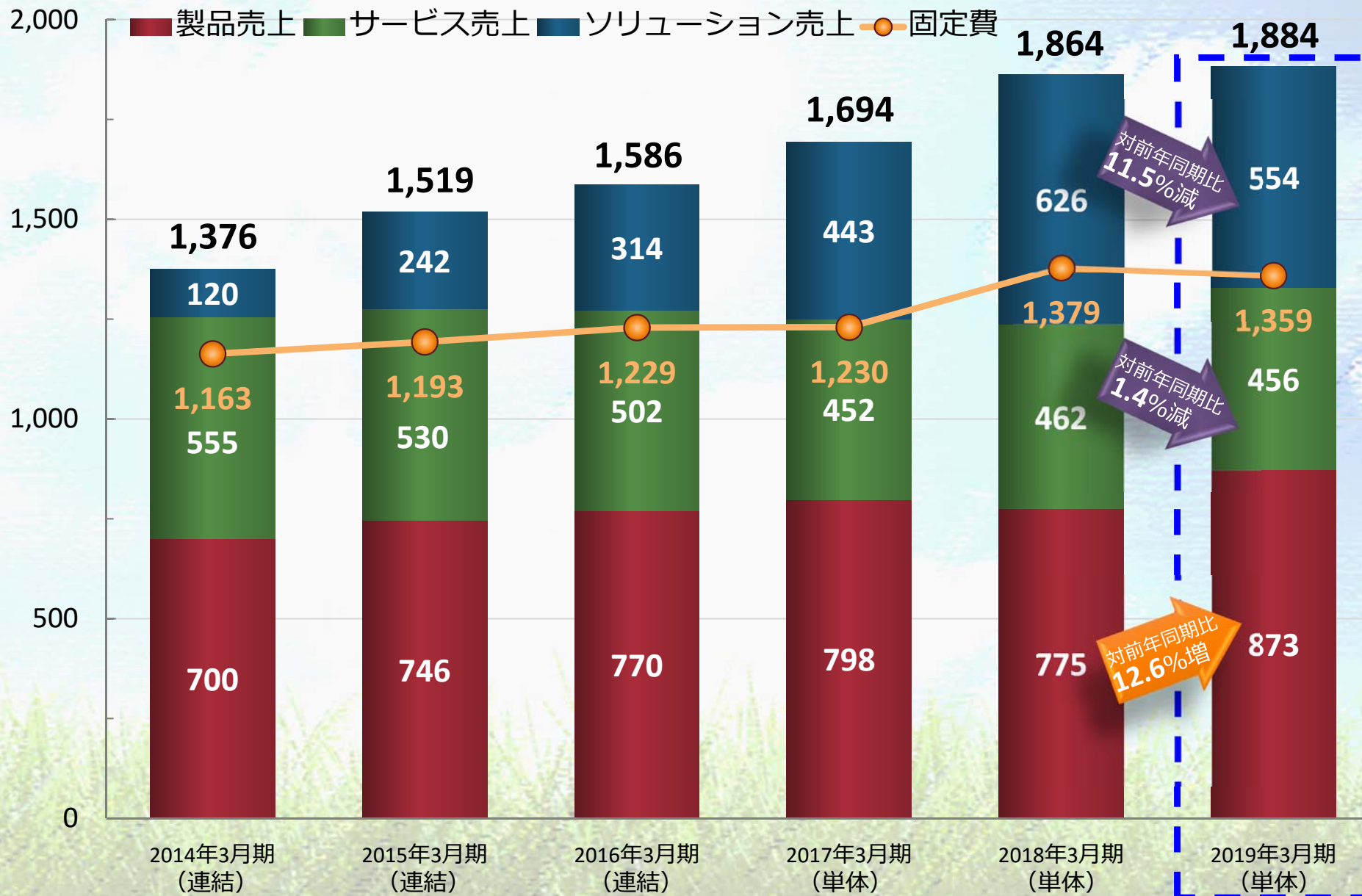
2019年3月期業績概要

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	対前期比
売上高	1,864	100.0%	1,884	100.0%	1.1%
売上総利益	1,126	60.4%	1,114	59.2%	△1.0%
販売費及び 一般管理費	1,007	54.0%	998	53.0%	△0.9%
営業利益	118	6.4%	116	6.2%	△2.1%
経常利益	127	6.9%	124	6.6%	△2.4%
当期純利益	92	5.0%	88	4.7%	△4.5%

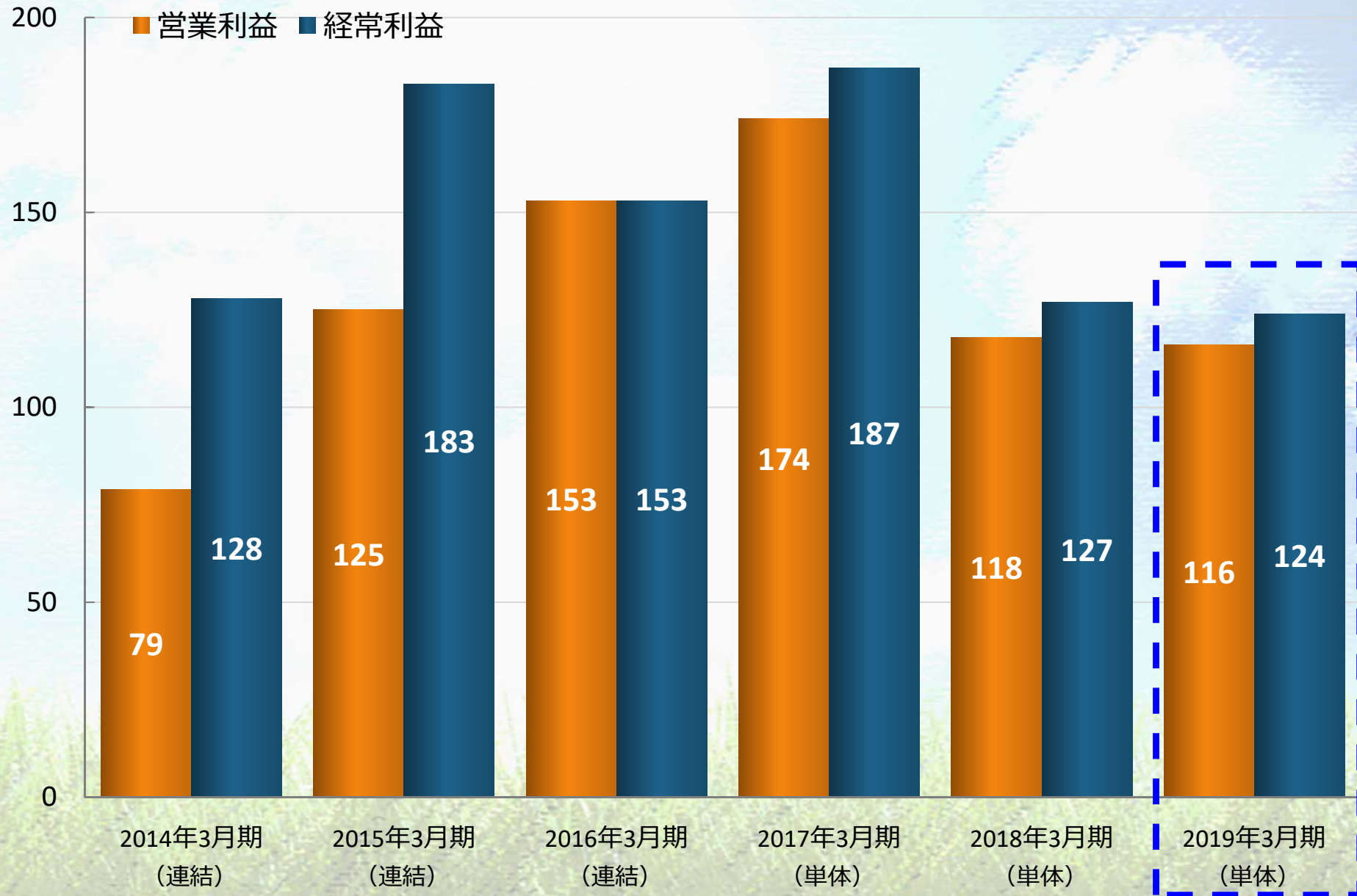
売上高・固定費の推移

(単位：百万円)



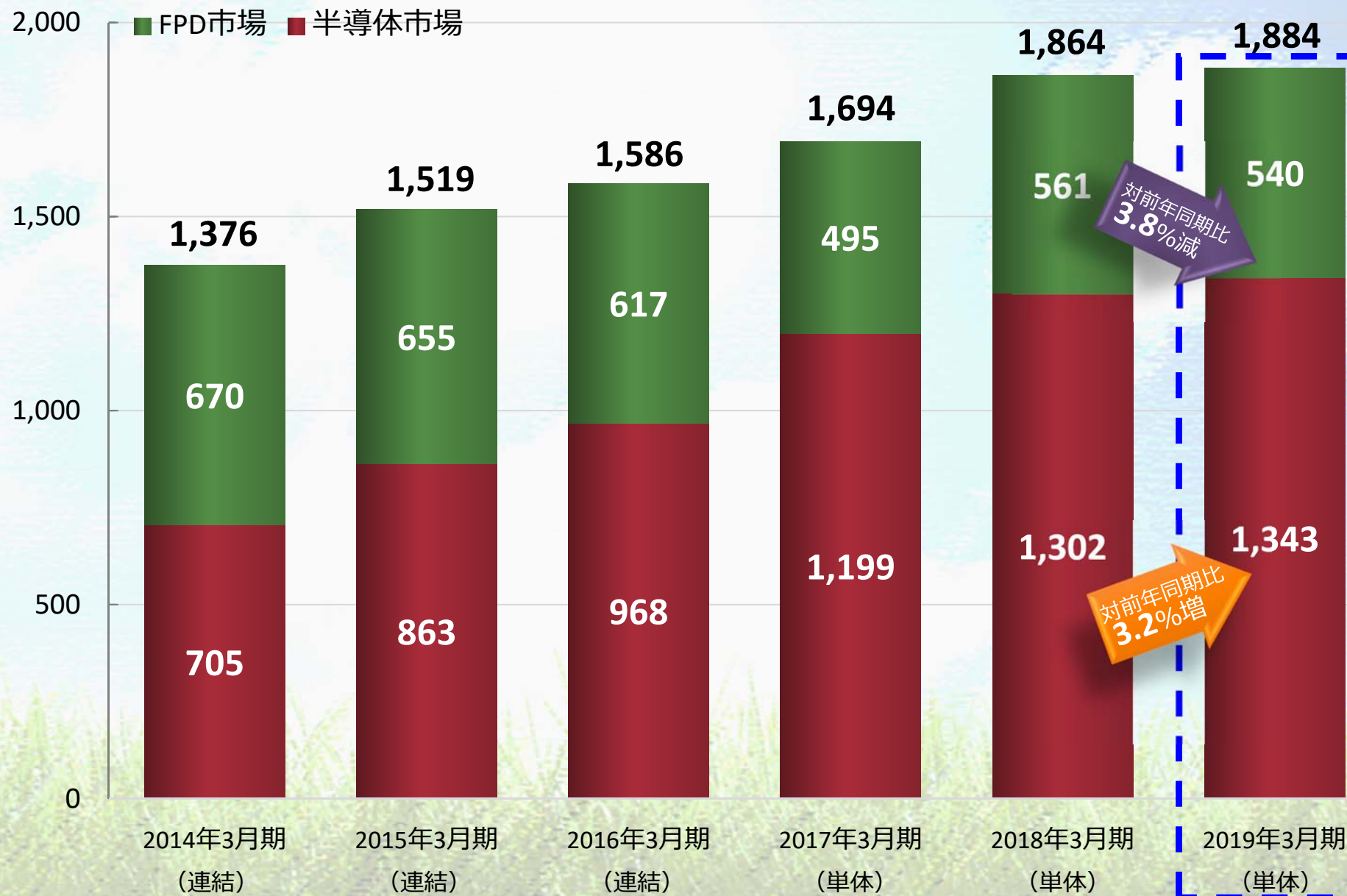
利益の推移

(単位：百万円)



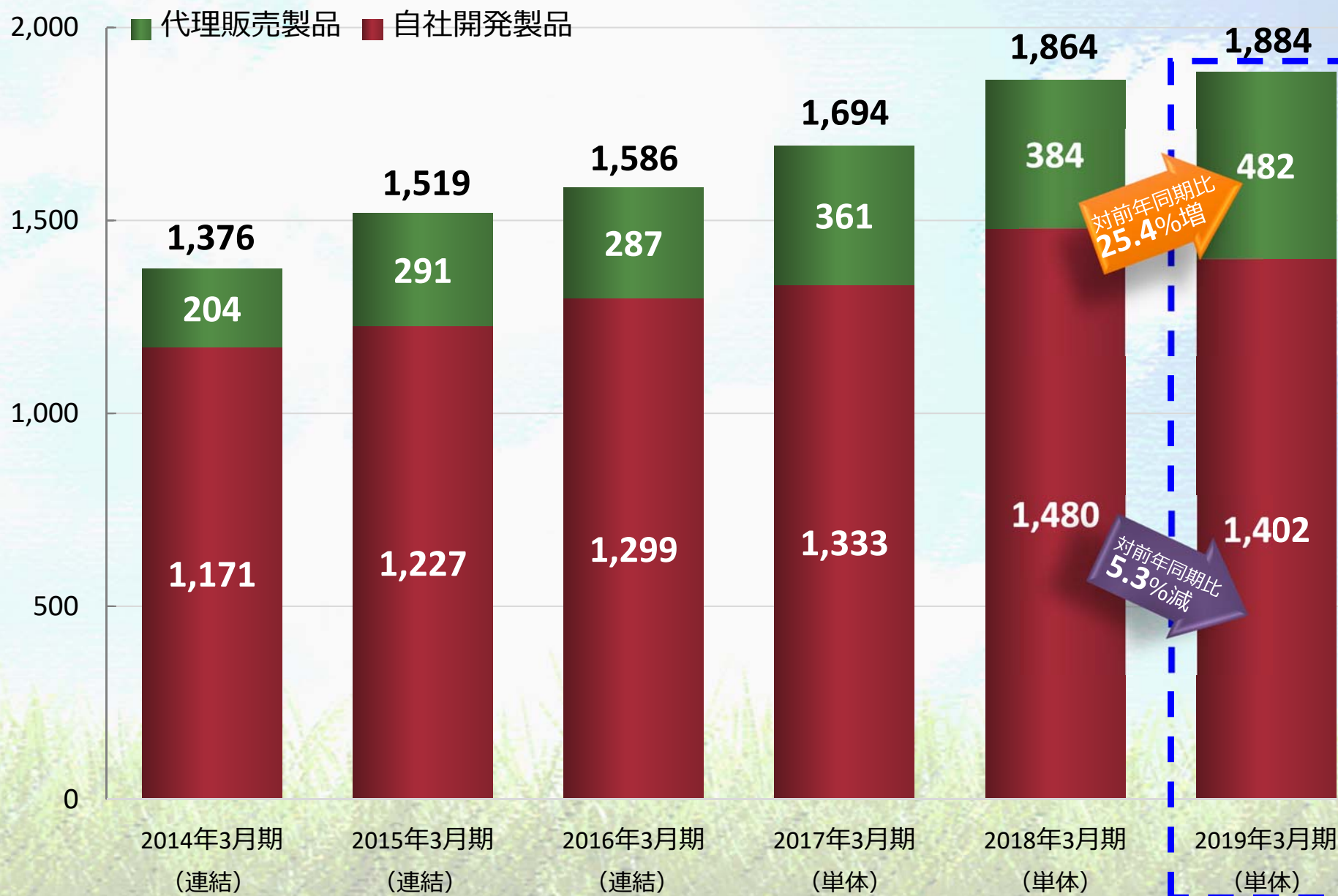
市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



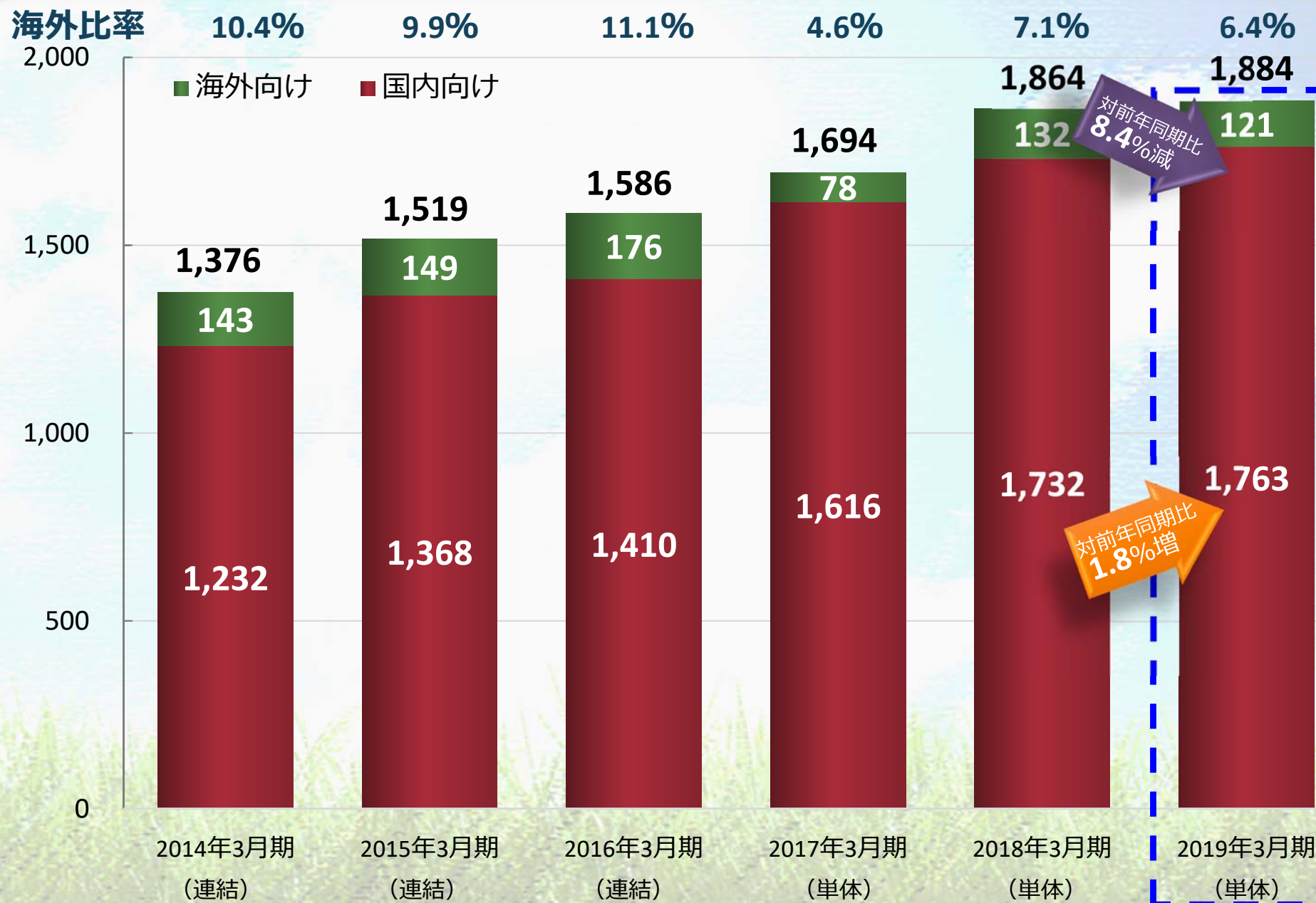
製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

(単位：百万円)



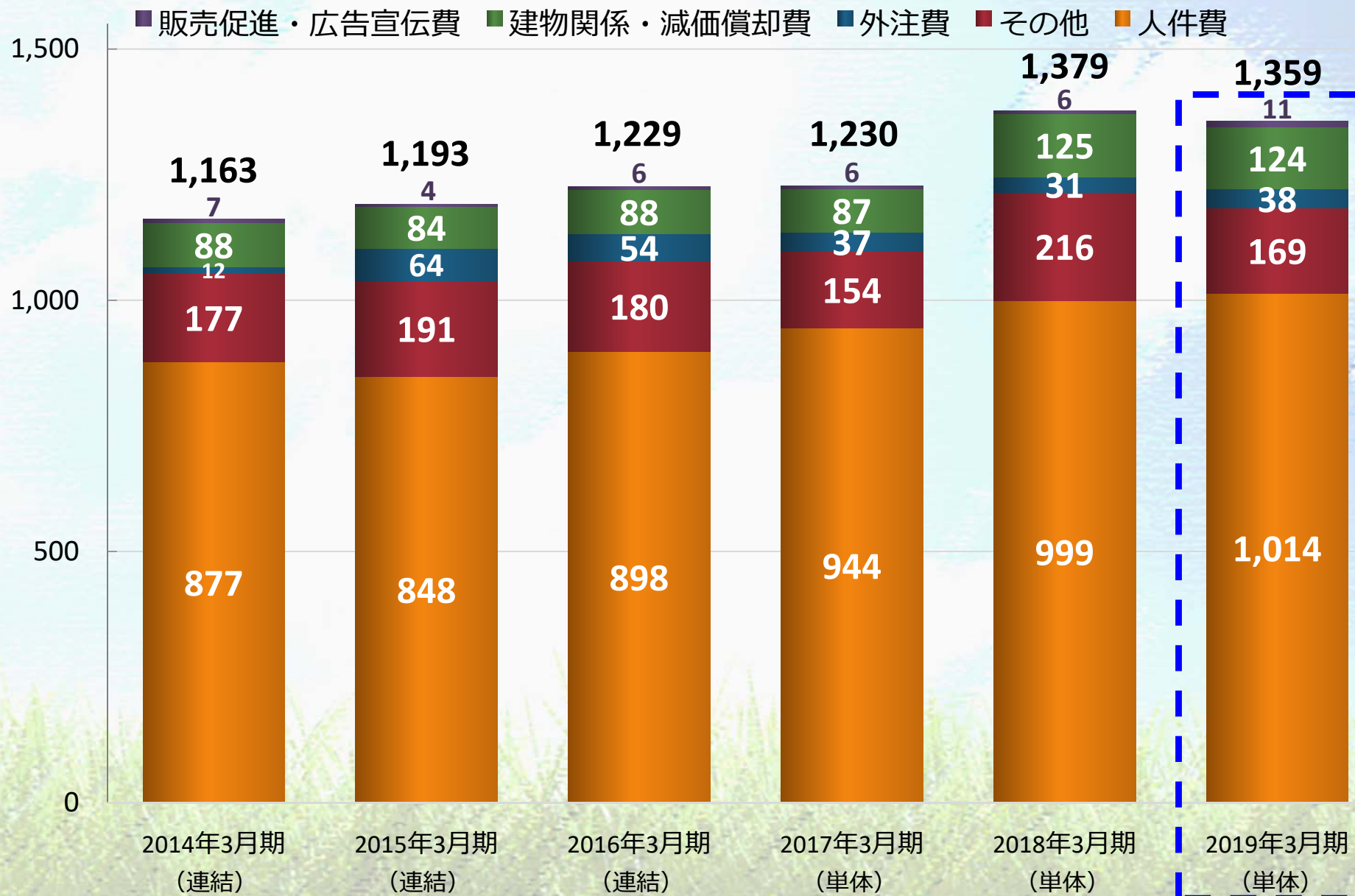
販売先別売上高 (国内/海外)

(単位：百万円)



固定費内訳

(単位：百万円)



貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年 3月期末	2019年 3月期末	差異		2018年 3月期末	2019年 3月期末	差異
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	2,982	3,069	87	I 流動負債	422	452	29
1 現金及び預金	2,347	2,583	236	1 買掛金	34	26	△8
2 受取手形及び売掛金	268	247	△21	2 未払金	28	48	20
3 電子記録債権	107	158	50	3 前受金	183	210	26
4 有価証券	200	—	△200	4 賞与引当金	91	82	△9
5 たな卸資産	4	10	5	5 その他	83	84	0
6 前渡金	37	49	12	II 固定負債	3	3	0
7 その他	15	19	4	資産除去債務	3	3	0
				負債合計	426	456	29
II 固定資産	198	194	△3	(純資産の部)			
1 有形固定資産	44	37	△6	I 株主資本	2,753	2,808	55
2 無形固定資産	11	6	△4	1 資本金	760	760	0
3 投資その他の資産合計	142	150	7	2 資本剰余金	890	891	0
投資有価証券	40	50	9	3 利益剰余金	1,135	1,185	50
繰延税金資産	42	38	△3	4 自己株式	△32	△28	4
その他	59	61	1	II 新株予約権	1	0	0
				純資産合計	2,754	2,808	54
資産合計	3,180	3,264	83	負債純資産合計	3,180	3,264	83

償還

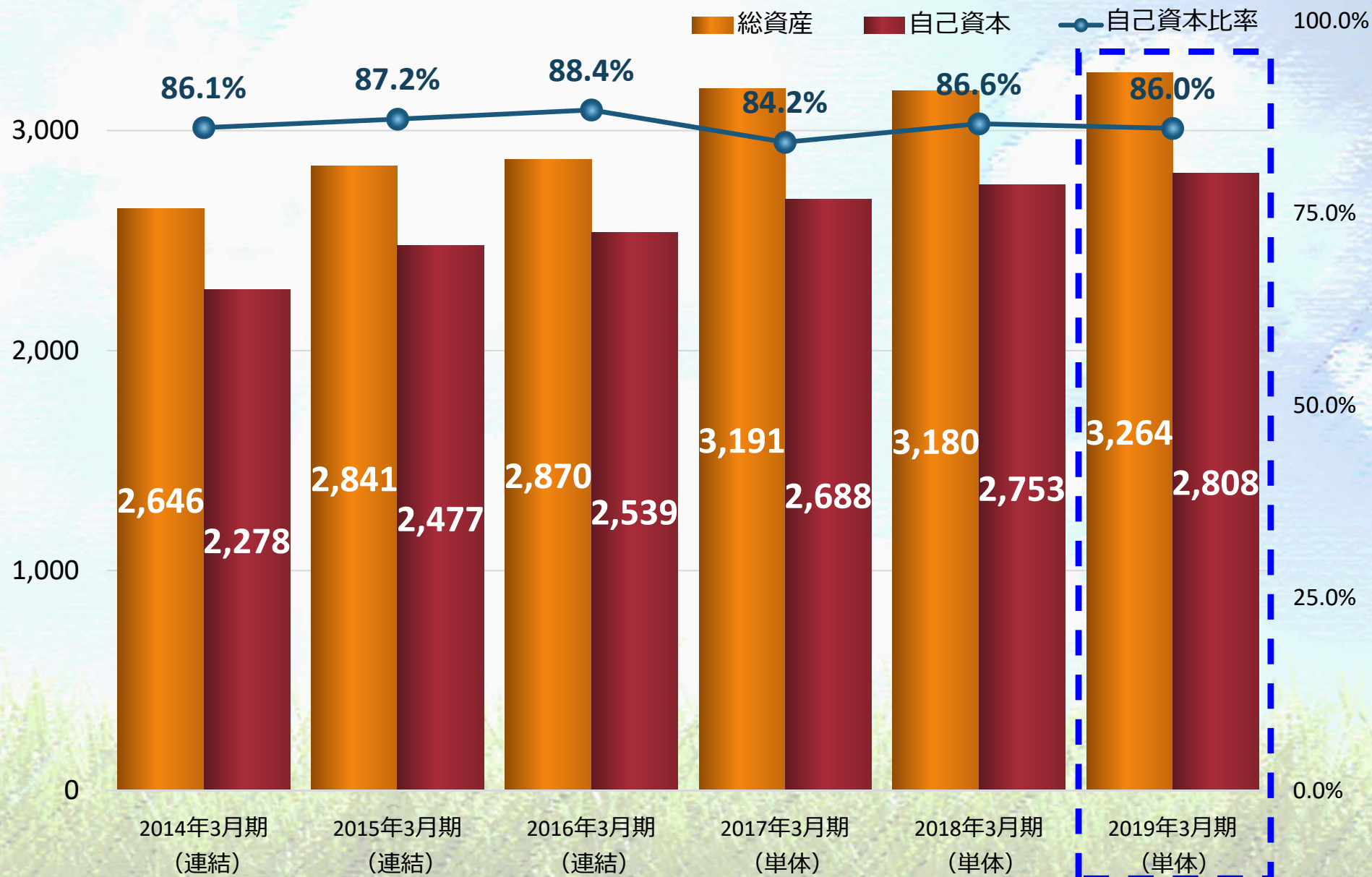
キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2018年3月 期末	2019年3月 期末	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	0	93	93
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△61	152	213
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△28	△38	△9
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	1
V 現金及び現金同等物の増減額	△90	208	298
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,537	1,447	△90
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,447	1,656	208

総資産・自己資本

(単位：百万円)





- ◆ 主力製品の機能拡張を継続
 - ✓ 6月 SX-Meister Ver.5.0.0をリリース
 - AnaCell, 匠データベースを新規リリース
 - ✓ 12月 SX-Meister Ver.6.0.0をリリース
 - 設計制約の検証機能を新規リリース
 - パワーデバイス解析の更なる高速化
- ◆ 産学連携の促進
 - ✓ アナログLSI設計教育の研究 (/w 九工大)
 - ✓ パワーデバイス寿命予測の研究 (/w 弘前大)
- ◆ 販促イベントの実施
 - ✓ 各種展示会に出展
 - ISPSD、Display Week、DAC etc.
 - ✓ 各種自社セミナーを開催
 - Technology Seminar、Solution Seminar etc.

1. 2019年3月期 決算概要

2. 2020年3月期 計画・業績予想

2020年3月期のポイント

売上高:20億円(対前年比6.1%増)
営業利益:1.7億円(46.2%増)、経常利益:1.7億円(36.2%増)

自社開発製品の機能拡張 & 販促活動の継続

台・中・韓の特定分野にフォーカスした海外向け拡販

電子部品等設計受託の拡張 & 効率向上

2020年3月期業績概要

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		
	実績	売上高比	計画	売上高比	対前期比
売上高	1,884	100.0%	2,000	100.0%	6.1%
売上総利益	1,114	59.2%	1,180	59.0%	5.9%
販売費及び 一般管理費	998	53.0%	1,010	50.5%	1.2%
営業利益	116	6.2%	170	8.5%	46.2%
経常利益	124	6.6%	170	8.5%	36.2%
当期純利益	88	4.7%	113	5.7%	27.7%

◆ 全般

- ✓ 最終製品の需要減少により電子部品の単価低迷
- ✓ 特に携帯機器向け,サーバ向けは影響大
- ✓ 本格的な業績回復は今年度後半の見通し

◆ 半導体

- ✓ 業界再編は継続中 (国内外)
- ✓ 国内ファブレス・IPベンダの活動が拡大
- ✓ 国内の設計アウトソーシング需要は下期偏重

◆ FPD

- ✓ 製造量拡大 & 需要減少による急激な単価下落
- ✓ 異形表示パネル・新方式パネルの研究開発が佳境
- ✓ 国内の設計アウトソーシング需要が増大

◆ 「SX-Meister」の製品力／販売力の増強

✓ 機能拡張を継続

- アナログLSI設計のTAT短縮を目指した“AnaCell”, “匠データベース”の更なる拡張
- 設計自動化ツールの更なる拡張
- 異形表示パネル設計およびパワーデバイス設計の効率化に向けた更なる拡張
- 次世代システム構築を見据えた大学およびパートナー企業等との「オープンイノベーション」促進

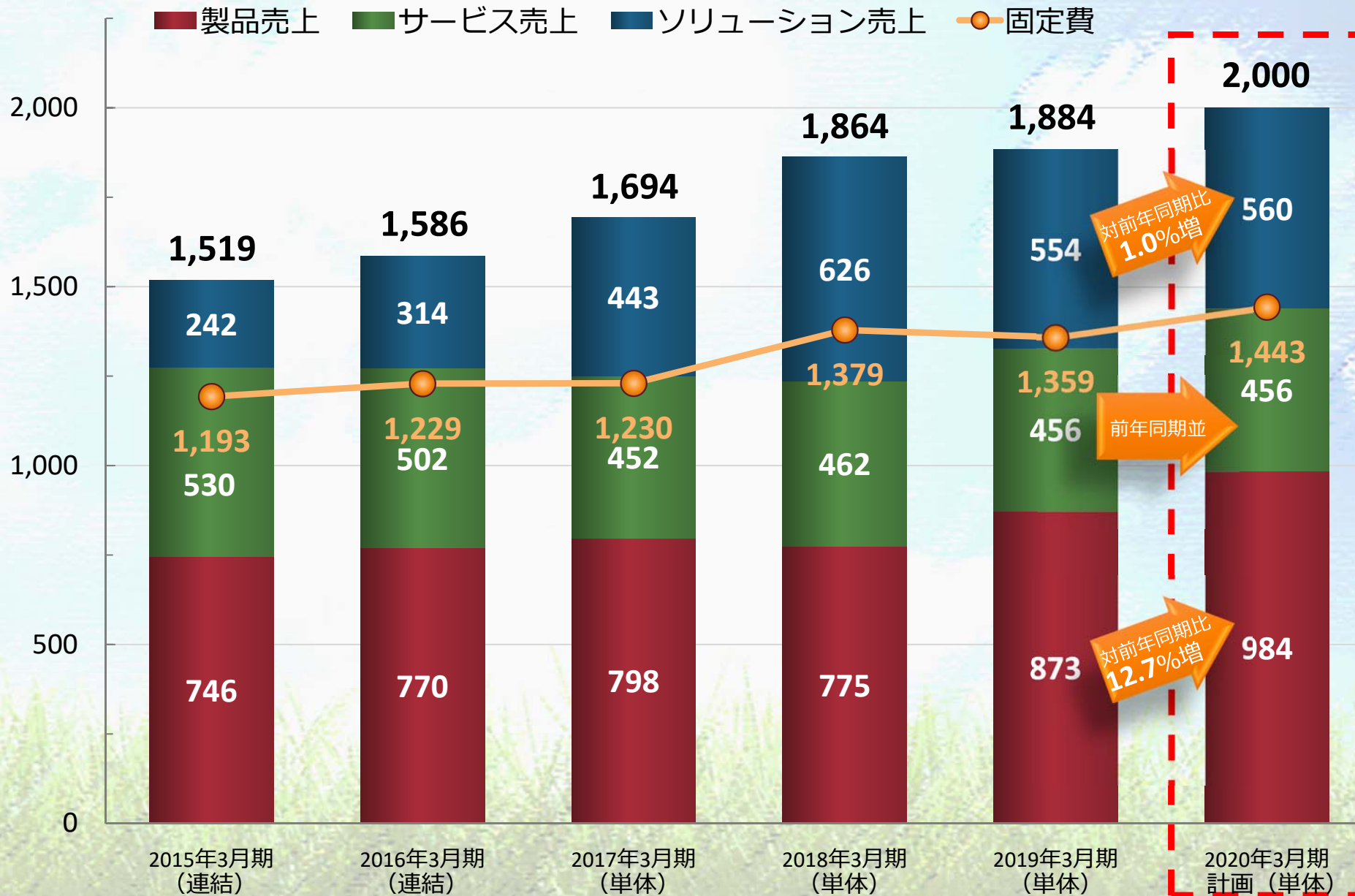
✓ 戦略的販促プロモーションを展開

- 将来構想を紹介するプライベートセミナーの開催
- 製品の普及促進を図る技術セミナーの開催
- 国内外の各種専門展示会・学会への出展
- 強力な代理販売品を絡めた顧客拡張活動

- ◆ ソリューション・ビジネスの拡張
 - ✓ 電子デバイス設計受託の拡張・効率化
 - 液晶の設計受託分野への拡張
 - 「ターンキー」ビジネスの本格立ち上げ
 - ✓ 設計支援ビジネスも継続
 - 設計コンサルティング等を継続
- ◆ 海外市場における顧客層の拡張
 - ✓ 重点販売国に注力
 - 台湾、中国、韓国
 - ✓ 競争力のある重点販売製品にフォーカス
 - FPD分野：異形表示パネル設計ツール
 - 半導体分野：パワーデバイス設計ツール

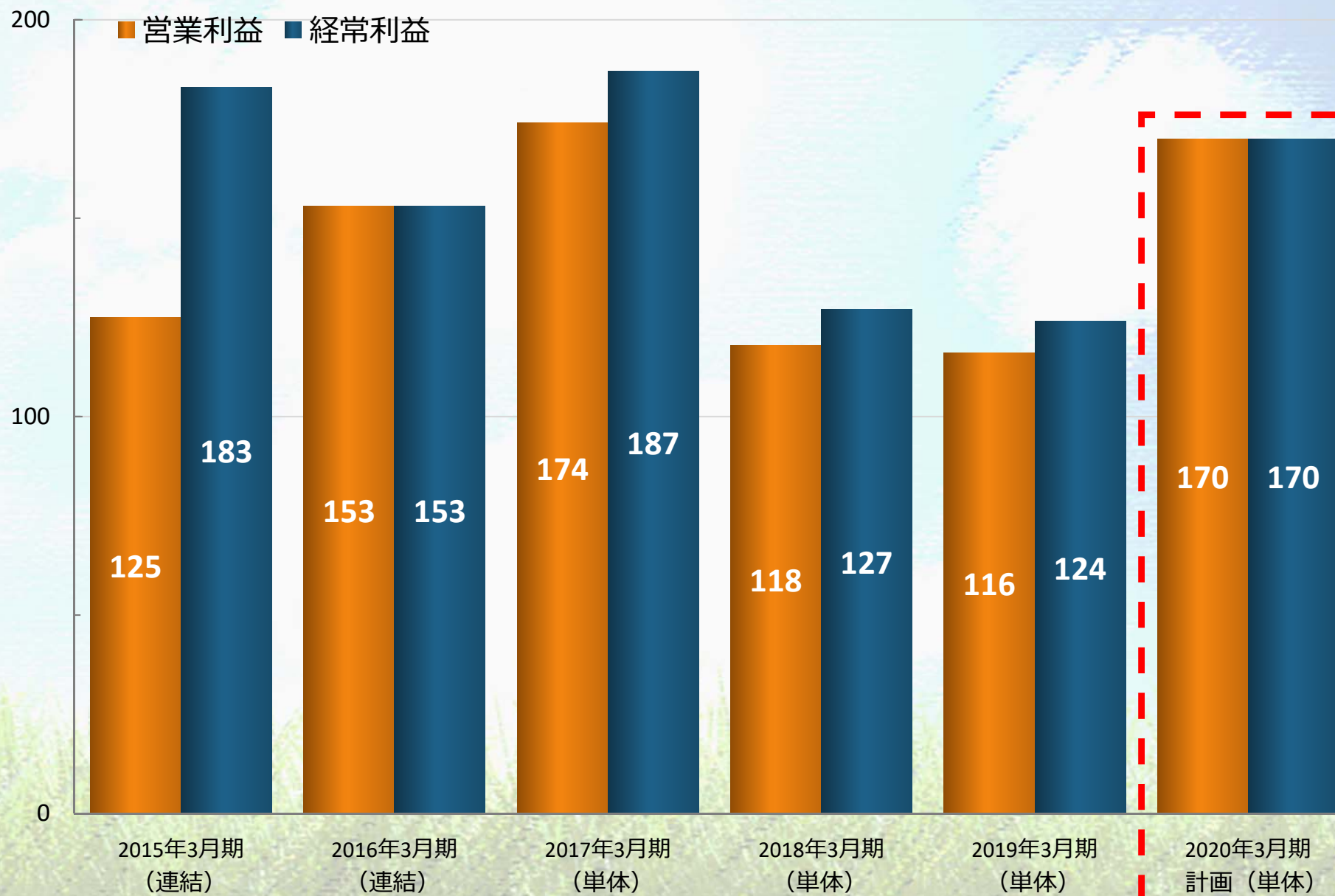
売上高・固定費の推移

(単位：百万円)



利益の推移

(単位：百万円)



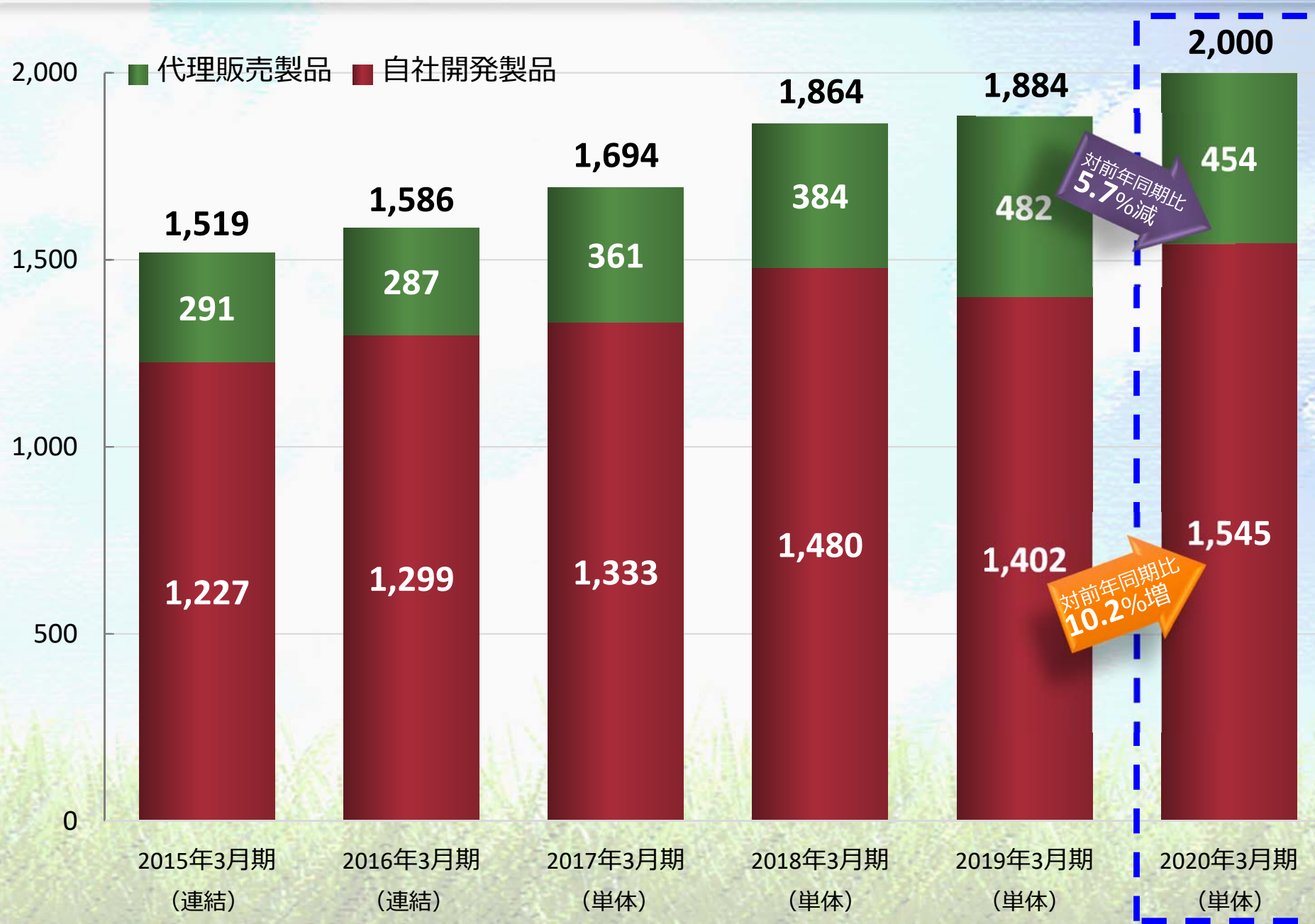
市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



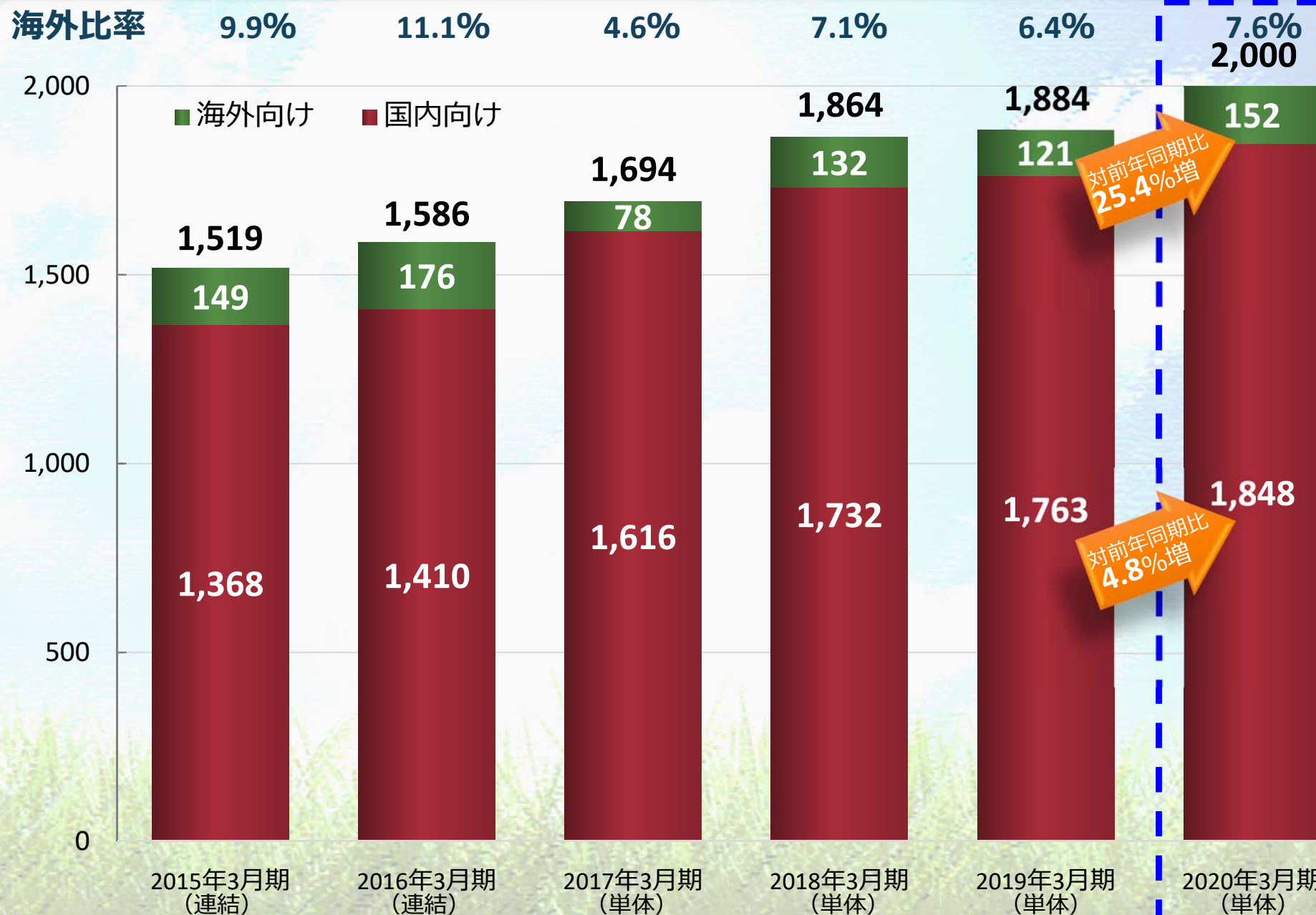
製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

(単位：百万円)



販売先別売上高 (国内/海外)

(単位：百万円)



ご清聴ありがとうございました